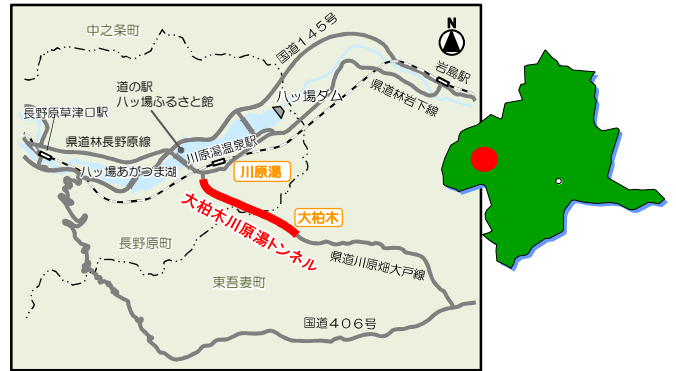


県道川原畑大戸線（大柏木川原湯トンネル）政策3 多様な移動手段の確保
トンネル整備事業 施策2：自動車交通網の整備

事業概要

- 所在地：長野原町川原湯～東吾妻町大柏木
- 路線名：一般県道 川原畑大戸線（大柏木川原湯トンネル）
- 事業内容：延長3,180m（トンネル延長3,005m）
幅員9.75～10.25m
- 全体事業費：約42億円
- 事業期間：平成29年度～令和2年度（4年間）
- 現況交通量（H27）：846台/日（川原畑大戸線）
- 計画交通量（R12）：2,600台/日（川原畑大戸線）

事業位置



どのような目的を達成するための事業か

- ・地域の発展と住民の利便性向上のため

トンネルをつくりました



- ・国道406号の一部の道路幅が狭くて危険なので、道路を拡げて安全に通行出来るようにしてほしい。（地元住民）
- ・川原湯～大柏木間をもっと早く安全に行けるようにしてほしい。（地元住民）

成果を示す項目	実施前	実施後
アクセス時間の短縮 （川原湯温泉～高崎方面）	約2時間 （国道406号経由）	約1時間30分
雨量通行規制区間の解消	7.6km（国道406号）	0km（7.6km解消）

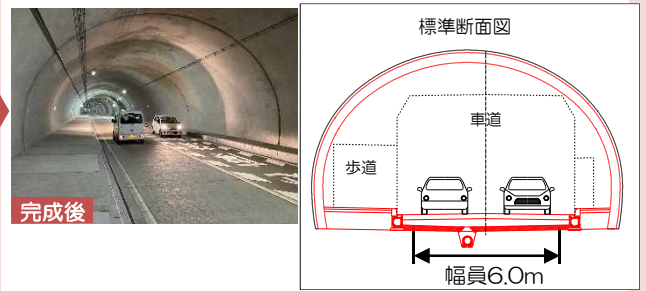
実施前

- ◆ 幅員が狭く、すれ違いが難しいことに加え、雨量規制等の交通規制が実施される状況にありました。

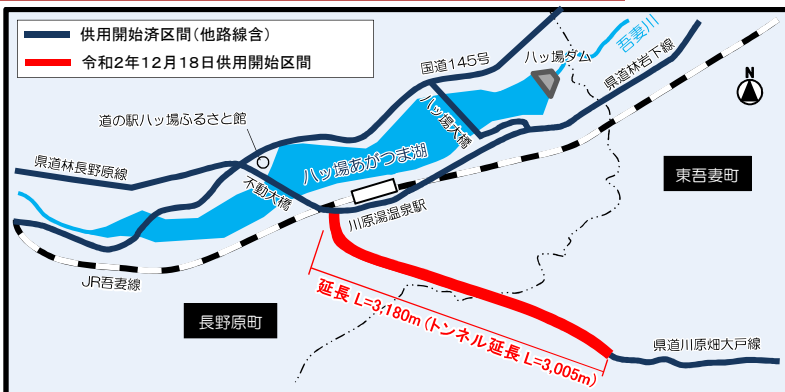


実施後

- ◆ トンネルにより、雨量規制等で通行止めとなる交通規制区間を回避した新たな道路ネットワークが確保されました。
- ◆ トンネル前後の道路と一体となった2車線化と歩道整備により、車両と歩行者の円滑で安全な通行が可能となりました。



事業の進捗状況（R2年度完了）



事業のすすみ具合

事業開始 ●

● 事業完了

今、何をしているか

令和2年度にトンネル整備が完了（令和2年12月18日供用開始）し、長野原町～高崎市間の快適な通行が確保されました。



写真は供用しているトンネル内の写真です。